市町村名		糸満市										
		沖縄振	興ヤ	別推進交付金	事業(市	町村分)検証シー	ト【後年	度発現事	業】		
事業名		大度園地•馬	辺海	岸総合整備事業					世紀ビジョン 画該当箇所		5-3-(2)-エ 受入体制の整備	
担当部課名	彩	圣済観光部	商	打観光課	事業実施年度	平成 29	~ 平成 _年 29		興基本方針 当箇所	п	I-1-(1)	
事業内容				した先人ジョン万次郎 「啓発を図りつつ、大阪							な人材育成に向	
実施方法		直接実施		委託 □ 補助	助 I	□ 負担	□ そ	の他()				
				H29年度	H30年度		R1	年度	R2年度		合計	
	A. 予算現額			28,30	\$						28,308	
	B. 執行済額			28,19							28,198	
事業期間中 の予算額 ・執行額		うち 交付金充当額	湏	22,55	9						22,559	
【単位:千円】	執行	·····································		99.6	%						99.6%	
	執行	状況の説明		・記念碑等の整備に ・設計図書を使用し ・磁気探査を実施し ・記念碑等の整備を	て、自然公 た。			別規制法に	係る手続きを	実施した。		
		VT =	. – .=	· /				達	成状況			
		沽 勇	力目標	(指標)			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	E R3年度	
	ジョンの実		之地訂	己念碑建立実施設 計	B	標	実施					
事業期間中の		://L			実	績	実施					
活動目標	ジョン	ン万次郎上陸、	之地訂	己念碑建立工事の実	目	標	実施					
	施				実	: 績	実施					
					目	標						
					実	績						
		成男	19日標	(指標)	進捗状況							
		.,,,,					H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	E R3年度	
			之地訂	己念碑建立実施設計	目	標	完了					
事業期間中の	の完	∶ 7			実	: 績	完了					
成果目標		ン万次郎上陸、	之地訂	己念碑建立工事の完	目	標	完了					
	了				実	:績	完了					
					目	標						
					実	績						

事業完了後の取り組み 達成/進捗状況 成果目標(指標) H30年度 目標/発現年度 □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果 目 標 80.0% 来訪した学生等へのアンケート調査等を実施し、「将来、 国際的に活躍したい」と回答した人の割合(80%以上)を 含め、本事業の在り方を検証する。 実 績 51.9% 事業完了後の 目 標 実 績 成 【H30年度】 果日 ・記念碑及び園路の整備が観光振興には寄与していると思われるが、来訪した学生等へのアンケート調査の結果「将来、国際的に活躍したい」と回答した人の割合は51.9%となり目標を下回った。 状

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
【H30年度】 ・大度浜海岸に訪れた目的が「ジョン万次郎記念碑」と回答した人の割合は70.6%となり、記念碑及び園路の整備が観光振興に寄与している。	【H30年度】 ・ジョン万次郎上陸の地の大度浜海岸から米須・山城海岸を新たな観光拠点エリアとして整備するための施策を網羅した「大度園地・周辺海岸総合整備基本計画」の具体化を検討する。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【H30年度】

況説明

・大度浜海岸がさらに魅力的な観光地及び国際的な人材育成の場となるよう、市ホームページや来訪した学生等へアンケート調査を実施する。 ・実施したアンケート調査結果をもとに意見を集約し、必要な施設・サービスを把握することにより今後の施策展開につなげる。

市町村名	糸満市											
	沖縄振	興特	別推進交付金	事業(市	町村分)	検証シー	ト【後年』	隻発現事 :	業】			
事業名	観光地危機	管理対	対策事業					せ紀ビジョン ■該当箇所	第3章-3- 観光客の受入			
担当部課名	総務部	総	務課	事業実施 年度	平成 <u>^</u> 28	,平成 _年 30		製基本方針 4箇所	Ⅲ −1-	-(1)		
事業内容	定避難所の 整備施設: 系	観光施設が立地する本市において、観光客の増加に伴う事故や不測の事態 定避難所の非常食・毛布・炊き出し資機材等の整備を行う。 整備施設:糸満小学校、真壁小学校、農村改善センター、糸満中学校、兼城 兼城小学校の防災倉庫整備。										
実施方法	■ 直接実施		委託 口補	助□	負担	□そ	の他()					
			H28年度	H29	H29年度		年度	R1年度	:	合計		
	A. 予算現額		50,2	69	14,320		15,693			80,282		
市类物理人	B. 執行済額		49,6	62	14,314		15,245			79,221		
事業期間中 の予算額 ・執行額	うち 交付金充当	額	39,7	30	11,451	1	12,196			63,377		
【単位:千円】	執行率(%)(B/A)		98.	8%	100.09	6	97.1%			98.7%		
	執行状況の説明		ほぼ当初予算のと	おりに執行で	きた。入札	により執行額	頁が抑えられ <i>†</i>	こことで、適正	Eに執行できたと	さ考える。		
	:I	64 CD 4##	· · · · ·				達	成状況				
	活!	벬日惊	(指標)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	指定避難所へ防災	⟨⟨次	++の軟件	目	標	3	3	3				
事業期間中の		火貝饭	材の登開	実	績	3	3	3				
活動目標				目	標							
				実	績							
				目	標							
				実	績							
	ct.	9 C +=	i / +12+== \			進捗状況						
	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	未日 惊	(指標)			H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	指定避難所へ防災	災資機	材の整備完了(3箇	目	標	3	3	3				
事業期間中の	所)	実	績	3	3	3						
成果目標	供茶会料の供茶	b.		目	標			75%				
	備蓄食料の備蓄薬			実	績			75%				
				目	標							
				実	績							

事業完了後の取り組み 達成/進捗状況 成果目標(指標) R2年度 目標/発現年度 □ 中期にわたる事業効果 H30年度 R1年度 ■ 後年度に発現する事業効果 目 標 1 1 整備した資機材等を活用した防災訓練(1回以上/年)を 実施することにより、本事業のあり方について検証する。 実 績 事業完了後の 目 標 実 績 成 【H30年度】 果日 ・地域住民を対象に糸満小学校で避難所運営訓練(津波避難)を実施し防災資機材や備蓄食糧等の活用方法を確認した。 状 【R1年度】

【完了後】事業効果等の確認
(施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)

【H30年度】
・本事業に関しては、災害が発生しない限り検証が困難なため、防災訓練等を実施し、適切な被災者支援ができるよう検証していく。

【R1年度】

【R2年度】

【R2年度】

【R2年度】

【R2年度】

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【H30年度】

況説明

【R2年度】

・災害時に円滑な避難所運営、被災者支援が行えるよう、適切な資機材管理や訓練を実施する。

【R1年度】

【R2年度】

市町村名 糸満市 沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】 沖縄21世紀ビジョン 第3章2-(1)-イ 「スポーツアイランド沖縄」の形成 事業名 パークゴルフ場整備事業 基本計画該当簡所 平成 ~ 平成 年度 事業実施 沖縄振興基本方針 担当部課名 建設部 都市計画課 **Ⅲ**−1−(1) 年度 該当箇所 27 29 本市を訪れる方や市民に身近で手軽に行える運動に触れる機会を提供し、生涯スポーツ人口増加やスポーツアイランド沖縄の取 事業内容 り組みを一層充実させるため、生涯スポーツ施設等の整備に取り組む。 ■ 直接実施 ■ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他() 実施方法 H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 合計 A. 予算現額 17,913 146,056 33,923 197,892 B. 執行済額 143,513 30.009 190,347 16,825 事業期間中 の予算額 ・執行額 うち 13,460 114,810 24,007 152,277 交付金充当額 【単位:千円】 執行率(%)(B/A) 93 9% 98.3% 88 5% 96 2% ·H28年度及びH29年度は、指定管理者による施設利用者等との調整に不足の日数を要したため、翌年度に繰 執行状況の説明 越を行った。 ・最終的な執行率は96.2%となり、概ね計画的に執行できた。 達成状況 活動目標(指標) H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 R1年度 目 標 実施 パークゴルフ場及び管理棟の実施設計の実 実 績 実施 事業期間中の 活動目標 目 標 実施 パークゴルフ場及び管理棟の整備工事の実 施 実 績 実施 目 標 実施 パークゴルフ場芝管理機械の購入及び パークゴルフ場フェンス設置工事の実施 実 績 実施 進捗状況 成果目標(指標) H27年度 H28年度 H29年度 H30年度 R1年度 目 標 完了 パークゴルフ場及び管理棟の実施設計の完 了 実 績 完了 事業期間中の 成果日標 目 標 完了 パークゴルフ場及び管理棟の整備工事の完 実 績 完了 目 標 8,125人 利用者数(H29.11月~H30.3月) 実 績 3,893人

	成果目標(指標)			達成/進持	步状況		
	□ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果						H29年度 目標/発現年度
	利用者数H29年度は(11月~3月)	目標					8,125人
*	利用省数1123年度は(ロカ・・3万)	実績					3,893人
事業完了		目標					
了後の		実績					
果日	・利用者数について、平成29年度11月から3	翌年3月までの目標値	18,125人に対し、実	ミ績値3,893人	となり、47.9%の)達成率となり	目標を下回っ
成果目標	・利用者数について、平成29年度11月から3 た。状 況 説 明	翌年3月までの目標値	₹8,125人に対し、∮	E績値3,893人	となり、47.9%の)達成率となり	目標を下回っ
朱目標 一	た。 状 況 説		ῗ8,125人に対し、∮	【完了後】	となり、47.9% <i>0</i> 牧善措置等 果の更なる向_	の検討	目標を下回っ

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

- 【H29年度】
 ・利用者数増加を目指し、公告掲載、ポスター配布、案内看板設置等の策を講じる。
 ・公益社団法人 日本パークゴルフ協会の認定コースを取得し、公式大会を誘致し利用者増加を図る。

市町村名	糸満市										
	沖縄振	興特	別推進交付金	事業(市	町村分	検証シー	ト【後年	度発現事:	業】		
事業名	西崎みどりの	遊歩	道整備事業					世紀ビジョン 画該当箇所	第3章2・ 「スポーツアイラン		
担当部課名	建設部	都	3市計画課	事業実施 年度	平成 27	~ ^{平成} 年 28		興基本方針 当箇所	Ⅲ −1	-(1)	
事業内容	観光地として う遊歩道を整		向上及びウォーキン∙ る。	グコースとし	ての活用	による生涯ス	ポーツの推済	進を図るため、	西崎護岸沿いる	₹周遊できるよ	
実施方法	■ 直接実施	•	委託 □ 補	助 [〕負担	□ そ	の他()				
			H27年度	H28年度		H29	年度	度 H30年度		合計	
	A. 予算現額		4,65	55	311,747					316,402	
市类物品小	B. 執行済額		4,25	66	311,562					315,818	
事業期間中 の予算額 ・執行額	うち 交付金充当客		3,40)4	249,2	50				252,654	
【単位:千円】	執行率(%)(B/A)		91.4	! %	99.	9%				99.8%	
	執行状況の説明		・H28年度は、実施 を要したため、翌年 ・最終的な執行率は	度に繰越し	t=。			、漁協の同意	書を得るにあた	り不測の日数	
			/4E.1#1)				į	達成状況			
	沽 男	り目標	(指標)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	14 15 14 15 14 - + 44 15 14 - + 44 15 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16 16		- IA-I	目	標	検討実施					
事業期間中の	遊歩道整備工事基	:本計	画の検討	実	績	検討実施					
活動目標	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	+		目	標		実施				
	遊歩道実施設計の	美施		実	績		実施				
	# L Y # H = ± 0			目	標		実施				
	遊歩道整備工事の	美.他		実	績		実施				
			/ 		進捗状況						
	以 朱	卡日 標	(指標)			H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\		まのし リナしょ ウマ	目	標	完了					
事業期間中の	近莎坦登偏工事基 	本計	画のとりまとめ完了	実	績	完了					
成果目標	** *	-		目	標		完了				
	遊歩道実施設計の	元「		実	績		完了				
	*************************************	.		目	標		完了				
	遊歩道整備工事の	元「		実	績		完了				

事業完了後の取り組み 達成/進捗状況 成果目標(指標) H30年度 目標/発現年度 □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果 目 標 28.000人/年 平成30年度遊歩道の年間利用者数 実 績 28,100人/年 事業完了後の 目 標 実 績 0成果目 【H30年度】 利用者数について、目標値28,000人/年に対し、実績値約28,100人となり目標を上回っている。 状 況 説 明 【完了後】事業効果等の確認 【完了後】改善措置等の検討 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等) (事業効果の更なる向上等) 【H30年度】 -今後の管理については、管理費の確保、指定管理者制度を活用した管理手法の検討、確立が必要である。 【H30年度】 ・利用者数は目標を達成しているが、今後遊歩道の植栽管理を含めた維持 管理を継続的に行い、利用者促進を促す必要がある。 今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等) 【H30年度】 ・毎年度の管理費の確保を目指し、指定管理制度を活用した管理手法の確立を目指していく。